

イカスメルマガ原稿

★★★★★★★ NPO イカス メールマガジン ★★★★★★★★★★★★★★

2025年5月25日発行

活かす通信

2025年6月（第215号）

<http://npo-icas.com/>

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

巻頭言 勝池レポート アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫

<活かす通信最終号> 『日本の守り本尊の交代』

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

読者の皆様、5年半続けてきましたこのメルマガは今回を持ちまして最終号とさせていただきます。長い間ご高覧賜り有難うございました。

最後にメルマガで中心に取り上げたインド経済の魅力をまとめます。

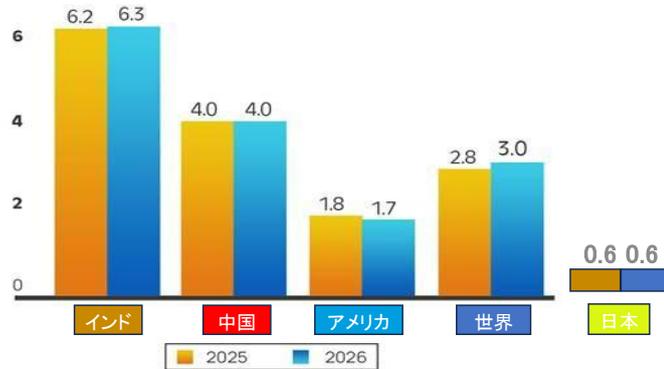
1. インドの経済は、長期の高度成長が可能な唯一の大きな経済である。
2. 最大の成長エンジンは都市化である。徳川家康の江戸、鄧小平の深センのようにナレンドラ・モディのムンバイはインドの都市化を先導する。
3. バラバラだったインドは繋がり始め、繋がっていたアメリカはバラバラになり始めている。世界経済の中心は、グローバルサウスに回帰している。
4. インドの経済は、独立100周年の2047年頃にはGDPで中国とアメリカ経済に接近し黄金時代を迎える。

このように私はインド経済に強気です。一方、日本経済については、人口減少、自然災害、感染症、弱い政権基盤、地政学リスクなどの不安材料が山積みで楽観的にはなれません。長期で下のグラフのような成長になるでしょう。

不安が一杯な日本は奈良時代にもありました。大地震、疫病の流行、飢饉、政権争い、遷都などが連続した時代です。聖武天皇は、その蔓延する不安を仏教の力で取り除き、国民を幸せにするために大仏造立の詔を発しました。そして、その開眼供養の導師としてインド出身の僧侶（菩提僊那）が来日しました。

世界経済の成長率予測(2025-2026年)

IMF2025年4月(%)



19

これからの日本は経済も個人の金融資産も、インド経済の力で不安を和らげ光明が見出せるかも知れません。日本の守り本尊は、陰りが見える自由の女神の国から、光明を差す仏教が生まれた国へ戻っていくと信じています。

メルマガ読者の皆様、長い間有難うございました。

★★

ムッシュ望月の6月の相場展望

日本は新しい時代を迎えられるのか「ピンチをチャンスに」

★★

日経平均株価はいよいよ正念場を迎える水準まで回復してきた。3月26日高値の3万8220円からトランプ関税がもたらす世界経済への悪影響を織り込む形で急落した。下げ幅は8日間で7400円超に達した。安値は昨年8月と同じ水準の31000円とテクニカル的にはダブルボトムを形成した。6ヵ月以上の幅がある

ダブルボトムは、大底確認はほぼ間違いない。安値を付けた後は、反発に転じ、38000円台まで回復を見せた。この急落面での売り手は、海外投資家であり、

それに同調した信用の投げと思惑売りであった。一方、底入れ後に買ったのは、先陣を切ったのはやはり同じ海外投資家であった。統計では、4月の海外投資家の株式と債券を合計で8兆円買い越したという。米関税政策をきっかけに米国に対する不信感が高まり、米国に投資していた投資マネーが日本やその他の国に流出、回帰したと思われる。流石に外国人投資家の動きは素早い。「相場の天底は理屈では当たらない」ことがある。ただ振り返ってみると、理屈に合っていることも多い。2025年3月期の日経225を構成する企業の一株当たり利益(EPS)は2502円で、今期2026年3月期は2322円と7.2%の減益である。これを反映すると、PER16倍は37152円、PER15倍は34830円となり、基本の動きは37500円の高値、35000円の安値のボックス相場

がイメージできる。すでに5月13日には高値38494円を付けており、やや過熱し過ぎている感が強い。この株高は景気減速だけでは説明出来ないものがある。それは、日米交渉で厳しい結果が可能性は十分にある。石破首相は「国難」と口に出しているだけに、通常では考えられないような対策が打ち出される可能性に期待したい。仮に野党に引きずられて消費減税と言うことになれば、インフレ税(物価上昇により通貨の価値が目減りし、政府債務の実質的負担が軽くなる)も考えられる。この方法が採用されれば、株価や不動産価格を押し上げることになる。今後の石破首相の政策が株価を決める可能性は高い。7月20日ころに参院選も迫っており、過熱感解消後は、押し目買いで対応したい。日本製鉄によるUS スチール買収もトランプディールにより解決の可能性がある、アラスカの LNG 開発が動き出せば、日本の LNG 船の開発で日米で協力すること出来る、米リニア新幹線構想により設備投資を起すことも出来る。ウインウインの関係を米と組むことが出来れば、日本再生への道が見えてくる可能性は否定できない。長い間、ご購入有難うございました。なお有料メルマガ(年間24000円)引き続き配信します。有料メルマガでは、個別銘柄の紹介もしており、お申し込みは info@npo-icas.com、です。

2025年06月以降िकासスケジュール

िकास主催の株式投資塾

- 06月04日(水): 15:00~花咲投資クラブ (A)
- 06月05日(木): 13:30~御苑貴族投資クラブ (A)
- 06月21日(土): 15:00~スペリオール投資クラブ (B)
- 06月26日(木): 15:00~東京3E投資クラブ (A)
- 07月02日(水): 13:30~御苑貴族投資クラブ (A)
- 07月03日(木): 15:00~花咲投資クラブ (A)
- 07月19日(土): 15:00~スペリオール投資クラブ (B)
- 07月24日(木): 15:00~東京3E投資クラブ (A)

िकास主催のイベント

- 7月18日(金): 18時~21時: 第38回カラオケ倶楽部、倶楽部エル
参加費: 7500円(食事+飲み放題)、7000円(ノンアルコール)
- 8月15日(金): 18時~21時: 第39回カラオケ倶楽部、倶楽部エル
参加費: 7500円(食事+飲み放題)、7000円(ノンアルコール)
- 9月19日(金): 18時~21時: 第40回カラオケ倶楽部、倶楽部エル
参加費: 7500円(食事+飲み放題)、7000円(ノンアルコール)

6月12日(木):13:00~第6回イカス経済金融文化塾+10:00~歩く会(吉原
界限)

食事(萬来舎にて)「蔦屋重三郎の経営戦略」、三宅あみ氏

6月30日:第7回イカス経済金融文化塾「参院選の行方、終わるか自民政権」

講師:田村重信氏、政治評論家、萬来舎にて *時間は確定次第、更新
致します。

6月6日(金)18時~21時:第44回イカス交流会夏の交流会(25周年記念)

外国特派員協会、講師:村上雅則氏(日本人メジャーリーガー1号)

音楽:オペラアーティスト首代明子氏、ベルディ「乾杯の歌」他

参加費:12000円(事前振り込み11000円)

振込先:三菱UFJ銀行、新宿中央支店、普通5313550、

特定非営利活動法人イカス

投資クラブ会場は(A)新宿御苑前中交公ビル604

(B)はニュー新橋ビル3F昭和ブックカフェ、

(C)は萬来舎

info@npo-icas.com

<http://npo-icas.com/>

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

深月ユリア(フリージャーナリスト)

石破首相独占インタビュー

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

【トランプは「神に選ばれた」と思い込んでいる】

赤澤亮経済再生大臣がトランプ大統領と相互関税の交渉から帰国した直後の5月2
日、石破茂首相にインタビューした。

一世界を大混乱させているトランプ大統領だが、石破首相から見たトランプ大統領の
印象とは?

「(トランプ大統領に会うまでは)『怖いおじさん』。ゼレンスキー大統領とトランプ大統領
の会談に象徴されるような、自分の考えと異なることがあれば、罵倒すること、暴走する
ことをいとわないみたいな」—ジャイアンみたいな?

「とは言いませんが、ホワイトハウスに着いた時は身構えましたよ。

でも、トランプ大統領が玄関に迎えにきてや、『よく来たね』と。第一印象は(会うまでに)
思っていた印象と違いましたね。

実際にお会いして、トランプ大統領からは『今まで忘れられてきた人々に対して、雇用
と所得増を実現するために自分は大統領になった』という並々ならぬ信念が感じられ

ました。演説中に銃撃された時、すぐに立ち上がり、その瞬間が写真に撮られました
が、トランプ大統領はその写真を表紙にした写真集を私にくれました。

トランプ大統領は自分が『天から、神から選ばれた』という思いを持っています。それが
『間違い』みたいな話をすると、そもそも話が成りたない」

石破首相もトランプ大統領もキリスト教プロテスタントの信者だ。
キリスト教信者には「神から与えられた天命」という考え方がある。

石破首相自身も首相就任前に出版した「保守政治家 わが政策、わが天命」(講談
社)で「もし私が首相になることがあるなら、自民党や日本が大きく行き詰まったときで
はないか。天命が降りない限りあり得ないだろう」という思いを記している。

【防衛費負担増の要求はない】

トランプ氏は在日米軍の駐留経費に不満を漏らし、米政権内でも日本の防衛費を
GDP 比 3% にすべきとの声があるとも報じられている。トランプ氏からは防衛費の負担
増を求められているのか？

「まったくくないですね。そもそも防衛費はその国自身が決めるべきものであり、よそから
何パーセントにしろと言われて決めるものではありません。トランプ大統領との 2 月の
会談時にも、『日本が決めます』とすでに伝えていきます。

戦後間もない 1948 年、アメリカ議会でヴァンデンバーグ決議というものが採択されまし
た。これは、アメリカが他国を防衛する義務を負う条約を結ぶ場合、その相手国に対し
て、自らの防衛のための自助努力と同時に、アメリカに防衛面で協力することを求める
ものです。

トランプ大統領の見方は、『アメリカは世界中に軍隊を派遣して世界の平和を守ってき
た。そして、市場を開放して、世界中からいろんな品物を輸入してきた。その結果、アメ
リカは弱く、貧しくなった。だからそのツケは支払われるべきだ』ということなのでしょう。
しかし日本は戦後、ヴァンデンバーグ決議に沿うように防衛努力を着実に積み重ねて
きました。自衛隊は憲法で認められた枠内でその行動範囲を広げ、自衛力を向上させ
るとともに、アメリカにも協力してきましたし、だからこそ日米同盟は『地域の公共財』と
言われるまでになっているのです。ですから、GDP 比 3% 云々というのはそもそもナン
センスです」

2014 年のオバマ政権時、安倍政権は憲法 9 条の解釈を変更し、①我が国に対する
急迫不正の侵害があること、②この場合にこれを排除するために他の適当な手段がな
いこと、③必要最小限度の実力行使にとどまるべきこと、の「武力行使の新三要件」の

元での集団的自衛権の行使を容認することを閣議決定した。

更に、第一次トランプ政権時に安倍政権はトランプ大統領の要求に応え、ま米国の武器輸出制度「対外有償軍事援助(FMS)」の支払い金額を大幅に上げた。結果、「兵器ローン(後年度負担)」の残高は、第2次安倍政権1年目の13年度の3.23兆円が、22年度には5.86兆円にも膨れ上がった。この金額は国防予算にも匹敵する。結果、岸田政権は2027年までに防衛費をGDPの2%に上げることを閣議決定したのだ。石破首相の主張通り、日本は防衛努力を重ねてきたし、アメリカの要求に応じてきた。それどころか、2024年には40年の旧型のジェット機にすら追い越されるようなトマホーク400発を2540億円で購入させられたり、むしろこれまでに「言いなり」になってきたことが問題視されている。

【激動する国際情勢の中での外交政策】

第二次トランプ政権になってから、アメリカとロシアは接近しているように見える。ウクライナ問題について、トランプ氏はロシアのプーチン大統領に歩み寄り、逆にヨーロッパとは足並みが揃わない印象だ。激動の国際情勢において、日本が取るべき外交政策は何か？

「第一に日米同盟を基軸とし、ロシアや中国を抑止しつつ、ウクライナの戦争をどうやったら早く終わらせられるか、そして、戦闘終結後のウクライナの復興に日本は何ができるのか、ということを考えておかなければなりません。

米露関係についても、『トランプはビジネスマンなので、プーチンと相性が合う』という説がありますが、私はトランプ大統領はむしろ『アメリカを再び偉大にする』ためにロシアがどれだけの意味を持つかということを考えているのではないかと思います。

(4月末に)ベトナムに外遊した際、アメリカという大国を相手に、北ベトナムはどうやって戦争を終結させたのか、そして、国連が果たした役割はなんであったのかということについて考えました。この問題意識は、今のロシアとウクライナの戦争にも通じると思います。

トランプ大統領はアメリカにとって損になるようなことを嫌います。戦争はいちばん不経済なことだから、トランプ大統領は『平和であるべき』と主張しているのだと思います。また、武力によるウクライナ併合が実現されたら、『じゃあ、うちもやろうかな』みたいな国が出てきかねない。そのリスクも考えているのでしょ

それは台湾有事を起こす可能性がある中国なのか、聞いたところ、石破首相は「とは言いませんがね」と意味深な答え方をした。

対中露・北朝鮮の安全保障対策として、石破首相は首相就任以前より「アジア版

NATO」構想を持っていた。その構想を実現するためか、ASEAN 外交は特に力を入れているようだ。

激動の国際情勢の中、石破首相はどのように日本の舵を切っていくのか。

ユリア記

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

発行者：特定非営利活動法人 ICAS（イカス）

東京都中央区日本橋室町 1-2-6 日本橋大栄ビル 7 階

電話：03-3432-5859 FAX：03-3432-5869

info@npo-icas.com <http://npo-icas.com/>

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

内容については万全を期していますが、その内容を保証するものではありません。また、当該情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当方は一切責任を負いません。投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。ご意見、ご感想、広告に関するお問い合わせ等は、下記までお願いいたします。

年間購読料：24000 円（毎週日曜日発行）

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★